

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●小原伊佐美元調教師が逝去

1月15日(月)、小原伊佐美元調教師が病気のため逝去しました(79歳)。同氏は騎手として中央競馬通算1813戦174勝の成績を残して引退、調教助手を経て調教師(栗東)へと転身。調教師としては1988年のJRA賞年度代表馬に輝いたタマモクロスを手掛けるなどJRA通算6569戦424勝の成績を残しました。

●イクイノックスらの競走馬登録抹消

2022年・2023年天皇賞(秋)、2023年ジャパンカップ、2023年ドバイシーマクラシックなど、国内外で6つのG I(G 1)を制したイクイノックス(牡4歳/美浦・木村哲也厩舎/JRA通算9戦7勝・海外1戦1勝)、2020年ステイヤーズS(G II)の勝ち馬オセアグレイト(牡7歳/美浦・菊川正達厩舎/JRA通算20戦5勝)、2021年報知杯フィリーズレビュー(G II)の勝ち馬シゲルピンクルビー(牝5歳/栗東・渡辺薫彦厩舎/JRA通算17戦3勝)、2021年・2023年アイビスサマーダッシュ(G III)の勝ち馬オールアットワンス(牝5歳/美浦・中館英二厩舎/JRA通算13戦4勝)、2020年きさらぎ賞(G III)の勝ち馬コルテジア(牡6歳/栗東・鈴木孝志厩舎/JRA通算13戦2勝)、2021年・2023年東京スプリント(大井・Jpn III)などの勝ち馬リュウノユキナ(牡8歳/美浦・岩戸孝樹厩舎/JRA通算34戦5勝・地方17戦5勝・海外1戦0勝)は、2023年12月16日(土)までに競走馬登録を抹消されました(年齢は抹消時)。イクイノックスは北海道安平町の社台スタリオンステーション、オセアグレイトは北海道日高町のヴェルサイユリゾートファームで種牡馬となり、コルテジアは栗東トレーニングセンターで乗馬となる予定。リュウノユキナは地方・船橋競馬に移籍し、シゲルピンクルビーとオールアットワンスは繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●横山武史騎手が佐々木竹見CジョッキーズGPに優勝

1月30日に川崎で2レースのポイント制で争われた佐々木竹見Cジョッキーズグランプリは、2戦を連勝した横山武史騎手(美浦)が総合優勝。松山弘平騎手(栗東)は2、8着で第4位でした。

●フェブラリーS(東京)に兵庫のイグナイターらが登録

フェブラリーS(G I、2月18日、東京)に、3頭の地方競馬所属馬が登録しました。筆頭格はイグナイター(兵庫)で、昨秋の調子を維持していれば、相手や展開次第で上位進出の可能性がります。他の2頭は、昨年の6着馬スピーディキック(浦和)と、前走東京大賞典8着のミックファイア(大井)です。

●兵庫クイーンSは愛知のニジイロハービー【各地の主要3歳重賞】

兵庫クイーンセレクション(1月25日、姫路、1400^米、牝馬)は、4番手から向正面半ばで早々と先頭に立った2番人気の愛知からの遠征馬ニジイロハービー(父ストロングリターン)がそのまま逃げ込み、初の重賞制覇を果たしています。

●アーテルアストレアらが参戦、2月7日のクイーン賞(船橋)

施行時期が従来の11月から変更となったクイーン賞(Jpn III、2月7日、船橋、1800^米)は、トップハンデ56.5^{kg}のアーテルアストレア、前回の優勝馬ライオットガール(56^{kg})、前々回の覇者テリオスベル(56.5^{kg})の三つ巴の様相で、芝のG II勝ち馬ゴールデンハインド(54^{kg})は初のダートが課題となりそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●エクリプス賞～年度代表馬にコディーズウィッシュ

北米競馬の年度表彰であるエクリプス賞の受賞人馬が現地1月25日に発表され、2023年の年度代表馬にコディーズウィッシュ(牡、2018年生、父カーリン、W.モット厩舎)が選ばれました。最優秀ダート古牡馬とのダブル受賞となったコディーズウィッシュは昨年、ブリーダーズCダートマイル(ダート1600^米)、メトロポリタンH(ダート1600^米)、チャーチルダウンズS(ダート1400^米)と3つのG 1勝ちを含む5戦4勝。今春から米国ケンタッキー州のダーレー(ジョナベルファーム)で種牡馬入りします。

●G 1ペガサスワールドC～ナショナルトレジャーが制す

1月27日に米国フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で行われたG 1ペガサスワールドC(4歳上、ダート1800^米)は、F.プラ騎手が手綱を取ったナショナルトレジャー(牡4歳、父クオリティロード、B.パファート厩舎)が2番手追走から最終コーナーで先頭に立つと、G 2サンディエゴHの勝ち馬セニョールパスカドールの追い上げをクビ差しりぞけて優勝しました。ナショナルトレジャーは昨年5月のブリークネスS(ダート1900^米)以来となるG 1・2勝目。昨年11月の前走G 1BCダートマイルはのちに年度代表馬に輝くコディーズウィッシュのハナ差2着でした。